

## 2023年夏季総会と懇親会を開催



集合写真



青木さんと  
瀬古さん

開催日： 2023年7月20日(木)11:30~13:30

場 所： ホテル JAL シティ仙台

参加者： 会員及び準会員 19名 + 出光興産(株)東北支店販売企画課長 合計 20名

(姓のみ、順不同)

平塚 さん	小野寺(征)さん	大谷 さん	清水(美)さん	勝見 さん
板垣 さん	青木 さん	岩渕 さん	長田 さん	森(哲)さん
柴田 さん	奥村 さん	沼田 さん	阿部(千)さん	坏 さん
小野寺(陽)さん	須田 さん	瀬古(マ)さん	平井 課長	喜多見

梅雨明け間近かの7月20日、久しぶりに集合して夏季総会が開催されました。

朝から好天で猛暑が予想されていましたが、開始前の10時半頃から急に空模様が怪しくなりスコールかと思うほどの豪雨が降りだし、交通事情も乱れてしまいました。そんな訳で開始時間に全員の集合が完了しませんでした。まずは集まった人達だけでもと、集合写真を撮りました。

また、受付で参加者の方々に募金いただいた国際難民支援団体(REI)への合計金額は¥6,440でした。



司会の柴田さん



受付風景

開始は、定刻の11:30。司会の柴田幹事が開始を発声し、森支部長の挨拶でスタートしました。



挨拶する森支部長



全員で黙とう

森さんは、支部長交代後初めて皆様の前でのご挨拶です。今後とも宜しくご協力をお願いしたいと話しはじめ続いて、コロナ禍で集まれなかったこの三年の間にお亡くなりになれた方々のお名前を紹介しました。

猪狩史郎 様、志賀昭二 様、今野栄一 様、福原 悟 様、森 俊子 様、前川 勲 様、村上幸次 様、大山金政 様、水谷博宣 様、伊藤博夫 様、蛭名将文 様、菅原智子 様、桜井 勇 様、小川 欽三 様、斎藤 トミノ 様 以上 15 名のご冥福を祈り全員で黙とうを捧げました。

次いで、秋田県平沢支部が高齢化等で支部活動維持が困難になったこともあり東北支部への加入希望を受けて今年から東北支部に加入されたことの報告がありました。

森さんは、「最近自分自身の体験として、『元気』が何よりと感じています。昨年入院加療をしたこと、その後体力不足を実感することが多々あり気を付けて体調管理に努めるようになっていきます。社友会の活動は会社の支援があつてのことを再確認し、「出光興産」の応援団として例えば持株会への参加、アポロカードへの加入等それぞれが出来る形で協力してゆくことが肝心です」と話されました。

「高齢化は東北支部も同じ課題を抱えています。支部長交代の折にも幹事も辞したいとの声も出ており長い人は10年以上幹事役を務めています。出来ましたら、幹事役を務めていただける方のお声をお待ちしていま

す。」と切実な問題提起と協力依頼がなされました。

「6月に開催された全国大会に東北支部から1名参加してまいりましたが、報告記事をホームページに投稿いたしましたので是非社友会のホームページをご覧くださいと思います。」

2023年度の東北支部の交付金の予算計画と決算内容、併せて2022年度の行事等報告と2023年度東北支部行事等計画(案)について配布文書と説明の後に質疑応答があり拍手をもって総会は終了いたしました。

本年度から加入した平沢の方々が7月の秋田豪雨での被害状況を把握しているのか？との質問が提示されましたが、総会時点では不明のため詳細を確認しますと対応。

支部長が平沢の工藤前支部長に確認したところ、にかほ在住の2名は被害無し、秋田市内の旭川が氾濫しましたが2名の方々は高層階にお住まいであったり、建て替えの際に嵩上げしていたりして被害無し、他の地区に住居のある方々も被害が無かったことが確認され報告されました。

昨今の自然災害が激甚化しており、安否確認の大切さを元支部長の太谷さんに指摘されたことは支部の規模が大きくなっている中では幹事の共有課題だと痛感しました。



続いて来賓としてお越しいただいた出光興産(株)東北支店販売企画課の平井課長から、ご自身の入社後の経歴の紹介の後に「会社の経営現況」のお話がありました。統合後の中期経営計画と2050年ビジョンについて、社友会の我々に身近な点に集約してプロジェクターを使用して説明をいただきました。

脱炭素化の大きな動きのある世界環境下にあって、それらをマイナスに捉えるのではなく逆にカーボンニュートラル(CN)社会への貢献が出来る機会として受止め、強みに変えてゆく活動を社員一同で取り組んでいるという力強い言葉が印象的でした。



平井課長の説明風景



続いて懇親会が開始され、勝見さんの乾杯の音頭で旧交を温める楽しい集いが始まりました。  
歓談風景は写真を参照願います。



乾杯の音頭は勝見さん





締め挨拶 平塚さん

最後は平塚さんの一本閉めで、懇親会は終了。

例年恒例で開催していた「カラオケ」は、コロナ禍でのリスク回避のため、行わないこととしていました。今回は、リアルに集合して歓談が出来たことの意味は大きいことだと感じます

開始前に降っていた雨は嘘のように上がり、猛暑の青空が大きく広がっていました。熱中症に気を付けて元気に秋の再会が出来ることを願いつつ解散となりました。

(喜多見記)

また、夏季総会の出欠確認の返信はがきに、会員の方々からの川柳寄稿と近況報告の記載をお願いしたところ多くの方々の提出をいただきました。

別紙にて、WBC をテーマの川柳と、近況を掲載いたしますのでご覧いただきたいと思います。